



「協働」で広がる世界～仲間と歩む 考え、感じ合う時間



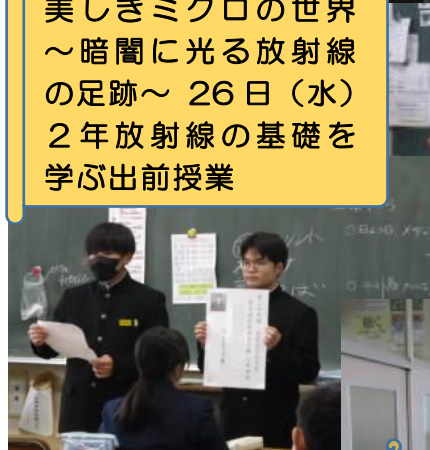
自分事になれる避難訓練をめざして～4日(火)3年有志による提案「行方不明者あり」訓練の実施



無言で？黙想は必要？～10日(月)清掃委員会主催 清掃本来の目的を見直す全校生徒での語り合い

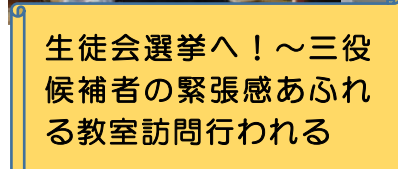


美しきミクロの世界
～暗闇に光る放射線の足跡～ 26日(水)
2年放射線の基礎を学ぶ出前授業

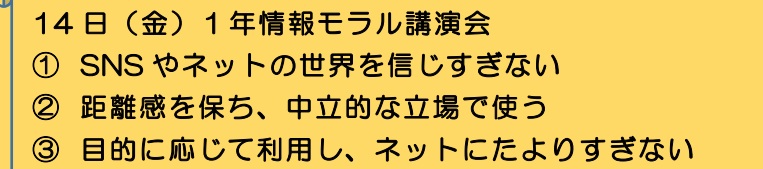


7日(金) LGBTQ「性の多様性」
ダイバーシティ信州代表 小泉 涼さん
全校参加での学校保健委員会 講演会

生徒会選挙へ！～三役候補者の緊張感あふれる教室訪問行われる



14日(金) 1年情報モラル講演会
① SNSやネットの世界を信じすぎない
② 距離感を保ち、中立的な立場で使う
③ 目的に応じて利用し、ネットにたよりすぎない



○全国学力・学習状況調査(3年)結果より～分析と考察



○ 全国の正答率の平均と比較し、**国語・数学ともにやや低い**という結果になっています。誤答や正答率が特に低かった問題に対して、全職員で「なぜこのような間違いをしたか」という生徒の思考の流れを分析しました。以下に結果から考えられる課題と今後の授業改善の方向についてお示しさせていただきます。

★国語において課題が見られた問題

- ・ちらしの中の情報を読み解く問題について、情報を示す位置を変えた理由を説明したものとして適切なものを選択する問題
 - ・発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、自分の助言を書く問題
 - ・文中の漢字「かいしんの出来です」を3つの選択肢(会心 改新 改心)から正しい漢字を選ぶ問題
- 資料や図を用いて、**自分の考えが分かりやすく伝わるように表現**を工夫することに課題がある。また、言葉の意味を選択する問題で正答率が低く、**基礎・基本の定着**に課題がある。

★数学において課題が見られた問題

- ・一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求める問題
 - ・連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になる説明をする問題
- 総合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見出し、数学的な**表現**を用いて説明することに課題がある。予想解答例の中に当てはまらない解答をする生徒も多く、**問題の意図が読み取れていない可能性**もある。

★生徒質問紙調査において「とてもそう思う」と回答し、県や全国の回答率よりも高かった質問と課題があると 思われる質問の回答

- 「自分にはよいところがあると思いますか」→ **45.6%** (県38.5% 全国40.7%)
 - 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」→ **51.8%** (県48.6% 全国46.6%)
 - 「友達関係に満足していますか」→「とてもそう思う」+「そう思う」で**93%** (県90.4% 全国91%)
- 自分自身の長所を認め、ある程度の自信をもち、自己肯定感が高めであることが考えられます。また、教師や友との人間関係も比較的に良好で、学校生活が安定している生徒が多いと考えられます。
- 「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事は除く)」→「**とてもそう思う**」も**高め14%** (県**12.6%**、全国**11.7%**)だが、「**思わない**」の回答率も**高めである**。本校 **44.7%** (県 **38.2%** 全国**36%**)
- 6月の地域公開参観(地域講師による出前講座)で多くの方と関わる機会がありますが、**年間を通した継続的な地域や大人との関わりが不足**しています。そこで、3学年では総合的な学習の時間で防災・減災教育に取り組み、多くの出前授業や主体的な避難訓練、地域での体験活動等を重ねてきました。**1月には「六中防災・減災フェス」を企画し、課題別追究を個人、クラスを超えた学年のグループで行っています。**

☆今後めざしていく授業改善の方向

1「読み方レスキュー」冊子の週1回の実施

これは単なるドリルではなく、「接続詞」「文意確定」「図との対応」「推理推論」「情報選択」「関係整理」「具体と抽象」の7つの力を養います。テストや個人追究時に、「何を聞かれているのかわからない」という質問の意味からつまづくことを避けるために、総合的な学力向上を目指していきます。

2「課題・めりはり・見とどけ」を明確にする授業の推進

授業のはじめに「この時間でつける力」や「何のためにこの活動をするのか」など、授業の目標を伝え、生徒が**学習の見通し**をもてるようにします。また、黒板に「学習問題」「学習課題」のマグネットシートを備え、**ふり返りの場面で学習の道筋が明らかになるような「見える化」**を図ります。さらに、**一人となつてじっくりと問題に取り組む時間**や**友と協働して課題を解決するような場面**を構築し、対話を通して多様な意見交換を楽しむことができるようにします。その際にはICTを有効に活用し、生徒一人ひとりの意見や思考の過程が共有できるような提示の工夫を図っていきます。

3職員研修の充実

年2回職員が自身の「授業の自己課題」を基にして、**互いの授業を自由に参観する機会**を設けています。また、**リフレクションタイム**を設け、**学んだことを出し合い、互いに高め合う授業づくり**を目指します。